

春フキ（促成栽培）の出荷が始まります シャキシャキの歯ごたえと香り



全国一のフキ生産地である知多半島で2月3日（木）から、春フキ（品種は愛知早生ふき）の出荷が始まります。知多のフキは（知）（まる知）のフキとして関東・中京・関西の各地へ出荷され、全国で流通するフキの4割以上を占めています。

2月4日（金）には、生産農家が出荷規格を確認する「目ぞろえ会」も開催しますので、ご案内いたします。

伝統野菜「愛知早生ふき」

「愛知早生ふき」は今から200年ほど前、知多半島の加木屋村（現在の東海市加木屋町）で庄屋を代々つとめていた、早川平左衛門宅で自家用に栽培されていたものと言われていす。明治時代に尾張地方に広がるとともに、関西にも広がりました。全国で栽培されているフキのほとんどが、東海市で生まれた「愛知早生ふき」です。

長期にわたり出荷

フキは本来春の野菜で、野生で育つと4月ごろが収穫時期になります。知多半島では夏に一定期間冷蔵した根株を植えることで、秋に収穫を可能にした「秋フキ（抑制栽培）」とビニールハウスを使って保温することで、2月初めから収穫を可能にした「春フキ（促成栽培）」を組み合わせ、10月から翌年の5月末まで収穫を可能にしています。



<知多のフキの概要>

栽培地域：東海市、知多市、南知多町で34ヘクタール（今年度）

出荷規模：JAあいち知多ふき部会 会員48戸

年間1626トン（今年度見込み）

収穫時期：2月～5月 「春フキ」



<メディア対応>

初出荷 日時 2月3日（木） 10時45分～

場所 JAあいち知多 東海営農センター（東海市大田町浜新田 355）

目ぞろえ会 日時 2月4日（金） 14時～

場所 JAあいち知多 知多営農センター（知多市三反田 3-6-1）

<お問い合わせ先>

JAあいち知多 経営企画部 広報情報課（山内直之）

TEL：0569-34-9952 FAX：0569-34-9963 E-mail：koho@agris.or.jp

